

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和4年 春・夏 第69号

あかり

A K A R I

これからの地域医療	1
パープル・デー2022	3
医薬品の供給不足が続いています	4
新採用者自己紹介	5
転勤者自己紹介	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

これからの地域医療

事務部長 川原 昇三

今年は、新型コロナウイルスに加えロシアのウクライナ侵攻、原油価格の高騰、国内に目を向けると円安や物価上昇など明るい話題が少し寂しいように感じられます。

新型コロナウイルスの世界的な流行は、医療現場は勿論のこと我々の日常をも大きく変えましたが、今ではワクチン接種や治

療薬のおかげで全国の感染者数や死亡者数減少の報道も伝えられるようになりました。5月にはマスク解禁の議論が出るなどようやく長いトンネルの出口が見えてきたようです。海外ではマスク解禁となった国も多く、国内には様々な意見があると思いますが、政府で検討いただき緩和や解禁に

向けて少し具体的な例を示していただければ幾分か社会が落ち着くのではないかと気がします。

とはいえ患者の命を預かる医療現場にとってはまだまだ気が抜けない状況が続きます。我々ひとりひとりも気を緩めることなく、今までの知見を活かして行動するのが賢明なのかもしれません。

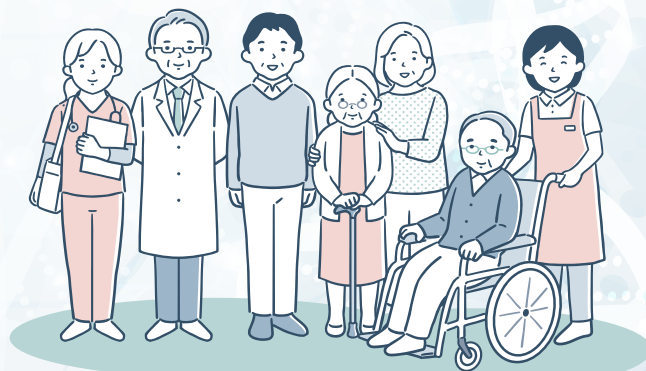
話は変わりますが、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025年をまもなく迎えるようとしています。

2025年には実に国民の5人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会が訪れ、それとは逆にその高齢者を支える現役世代(20歳～64歳)の人口が減少していきます。さらに2040年にはその現役世代が大幅に減少するという人口予測のもと、国は地域での医療機関の機能や規模、医師や医療従事者の偏在に着目し、必要な医療を最適に受けられるよう医療資源の見直しを図り、より質の高い安全で効率的な医療を目指すとして、地域医療構想の実現を掲げました。つまり、人口減少を考慮した将来の医療需要に合わせて、病床機能や規模を見直して効率化を進めていかないと今までの医療提供体制を維持できなくなるおそれがある

というわけです。今後も各都道府県において、地域医療構想の実現に向けた取り組みが進められますが、医療機関としても連携・協力しながら地域固有の様々な課題解決に力を合わせる必要があります。

将来の人口構造の変化と増加の一途を辿る国の社会保障費への対応は待ったなしの状況ですので、医療機関としても今一度地域医療の原点に立ち返り、自らの体制を見つめ直すひとつの岐路に立っているのではないかとあらためて思います。

医療を取り巻く状況は厳しさを増していると言われてますが、地域医療を維持していくため、当院では、てんかん、神経難病、重症心身障がいの医療を中心に、てんかん診療拠点機関、認知症疾患医療センターとしての地域での役割を担いながら、患者さまのご要望にお応えし、引き続き安心・信頼される質の高い医療の提供に努めてまいります。



パープル・デー2022

パープル・デーとは、毎年3月26日にてんかんへの関心、意識を高めるために、紫色の物を身に着け、世界中で活動を行っています。

パープル・デーは2008年に、カナダの当時9歳だったキャシディー・メーガンさんによって始められ、ラベンダーのパープル(紫)がてんかんの国際的イメージカラーであったことから、パープル・デーと名付けられました。

キャシディーさん自身がてんかんに苦しんでおり、病気についての誤解を解くために話し合い、世界中のてんかんを持つ人が「自分たちは決して一人ではないんだ」と知ってもらうとともに、一般の人たちにもてんかんに関する正しい知識を広めることを目的としています。

例年静岡市役所において開催されるイベントに出展し、皆様にパープル・デーのことを直接紹介しておりましたが、残念ながら今年のパープル・デーは昨年と同様に新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止となっ



てなりました。また、病院内でのイベントも自粛し、質素な形でのパープル・デーとなりました。

病院正面玄関自動ドアに紫色のツリーをあしらった飾り付けや、外来ロビー、A3、4、5、6病棟、療育訓練室入り口に紫を基調とした花を設置しました。

てんかんが誰にでもかかりうる可能性があり、いろいろな症状があることを理解して頂き、一人でも多くの方が早期発見、治療につながるようになっていくようこれからもてんかんに関する活動を行ってまいります。



医薬品の供給不足が続いています

薬剤師 入江 こはる

一部のジェネリック医薬品メーカーが製品の製造や出荷を長期間停止・縮小したことを発端として、医薬品メーカー各社が自社の製品の供給を継続するため、医薬品の「出荷調整」を広範に実施しています。「出荷調整」とは、ある医薬品に対する需要(使用量)が供給(製造量)を上回った際、完全に在庫が枯渇して出荷停止となってしまうのを避けるためにメーカーが自主的に供給量を調整することです。2020年末から始まったこれらの出荷停止や出荷調整を受け、現時点においても全国的に多くの医薬品の供給に影響が生じており、医療機関及び調剤薬局において必要量の医薬品を入手することが困難な状況が続いています。

当院においても、デパケンやテグレトールといった抗てんかん薬、脊髄小脳変性症治療薬であるセレジスト、抗アレルギー薬などで影響が出ており、院外の調剤薬局からも入手困難のためご相談をいただくことが多くなっています。

外来を受診される患者さまにおかれましては、供給状況によって先発医薬品からジェネリック医薬品への変更、錠剤から散剤・シロップ剤への変更等をお願いする場合があります。また、長期処方の場合には入荷次第、1ヶ月分毎などに分割してお薬をお渡しさせていただく場合があります。特にデパケン錠・R錠、セレニカR錠はご用意に時間がかかる場合があります。以前からかかりつけの薬局がある場合には、同じ薬局を継続してご利用いただくことで比較的スムーズに薬の手配をすすめられる傾向にあります。初めて処方された場合やかかりつけ薬局を変更される場合には、ご利用予定の調剤薬局

にあらかじめご連絡いただき、薬の確保をすすめてもらうようご依頼ください。



当院ホームページにもお知らせを掲載しております。「診療科・部門」から「薬剤部」を選択いただき、「薬剤部からのお知らせ」をご参照ください。

すべての患者さまが適切な治療を継続して受けられるよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

新人自己紹介

新採用者

精神科レジデント

釘宮 毅

てんかん診療の経験、知識を深めるため、当院での研修を希望しました。大分県出身、趣味はゴルフ、ダイビング、野球です。どうぞよろしくお願い致します。

脳神経内科レジデント

萩原 真斗

今年度から赴任しました萩原真斗と申します。これまで一般脳神経内科医として様々な病院で経験を積んできましたが、今後はてんかんを中心に専門的に学び、てんかん診療に貢献できるよう頑張りたいと思います。

小児科レジデント

宮下 光洋

皆さん、初めまして！小児科医の宮下と申します。以前よりてんかん学に興味があり、大阪から参りました。専門機関で臨床や研究に従事することをとても楽しみにしています。趣味は食べ歩きで、静岡県の食文化に関しても知見を深めたいと思っています。よろしくお願いします。

臨床検査科 臨床検査技師

足立 奈穂

4月から臨床検査技師として勤務しております足立奈穂です。まだまだ未熟者ですが、患者様に寄り添った検査ができるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

看護部A2病棟 看護師

岩井 結利恵

春はたけのご飯が好きです！看護師としても、社会人としても新人なので、自分でも勉強しながら、分からないことは積極的に先輩方に質問して早く業務に慣れたいと思います。至らない点も多くあるかと思いますが、ご指導よろしくお願い致します。

看護部B1病棟 看護師

遠藤 くるみ

今年から看護師となり、B2病棟に配属となりました。療養者さんの立場になって考えられる看護師を目指します。真面目に素直に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



看護部A3病棟 看護師

狩野 春菜

社会人になって頑張りたいことは栄養バランスの良い食事を心掛けて偏食を直すことです。お菓子を食べ過ぎないようにします。趣味はミッフィーグッズを集めることです。可愛いミッフィーちゃんを見つけたら教えてください！患者さんのその人らしさを支えられる看護師になれるよう頑張りたいです。よろしくお願いします。

看護部A4病棟 看護師

黒田 梨紗

A4病棟に配属となりました黒田梨紗です。出身は島根県です。不安なことも多いですが、てんかんを持つ患者さんがご家族の方の気持ちに寄り添った看護ができるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

看護部C1病棟 看護師

坂本 さくら

重症心身障害者病棟に入院されている患者様の個別性に合わせた看護を提供できるように頑張ります。患者様とたくさん関わり、技術や知識を身につけていきたいです。

看護部B2病棟 看護師

藤田 理子

4月から看護師になり、B2病棟に配属となりました。小さな変化にも気づくことのできる看護師になりたいです。不器用ですが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

看護部A4病棟 看護師

てんかん看護を通して、慢性期における看護についても学んでいきたいです。患者さんだけでなく、ご家族も支援できるよう、てんかんの専門的な知識・技術を学んでいき、共に病気と向き合っていける看護師を目指したいと思います。

新人自己紹介

転入者

臨床検査科 臨床検査技師長 下枝 弘和

三重病院から赴任して参りました。当院には4年振りの勤務となります。皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

臨床検査科 臨床検査技師 久保 丞未

4月に赴任しました久保丞未と申します。慣れないことも多々ありますが、一つ一つ確実にできるようになっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

薬剤部 調剤主任 間宮 公教

この度、4月1日付で金沢医療センター薬剤部から当院薬剤部に着任しました。総合病院での経験を活かしつつ、神経系に特化した薬物療法を新たに学んでいけたらと考えております。薬剤部での仕事にいち早く慣れ、業務に邁進して参ります。至らない点もあるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

栄養管理室 栄養管理室長 田中 雄太郎

静岡医療センターより赴任してきました。北陸地方も含め、当院で5施設目となります。様々な土地で経験した食文化などを活かせたらと思います。よろしくお願いいたします。

栄養管理室 栄養士

出身地が愛知県小牧市であり、静岡の地で仕事をするのは今回が初めてです。趣味は野球観戦(地元中日ドラゴンズの大ファンです!)、国内旅行です。1日でも早く仕事に慣れ、患者様、病院のために尽力していきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

看護部 副看護部長 中村 典子

この度、三重病院から転勤してきた副看護部長の中村典子です。患者さん本人、御家族さん、サポートしている周囲のみなさんが安心を感じていただけるよう頑張ってくださいと思います。静岡ははじめてです。美味しいものと静岡の魅力を少しでも感じ楽しめればと思っています。よろしくお願いいたします。

看護部C1病棟 看護師長 青木 裕子

鳥のさえずり、草のにおい。この大自然に戻ってきたんだと毎日出勤する度に喜びを感じています。季節を感じることでできる毎日、みなさんと過ごしたいと思います。暑い夏がやって来ます。どんな夏の香りがするのを楽しみます。

看護部C2病棟 看護師 大澤 綾音

以前は呼吸器、神経内科の病棟で勤務していました。重症心身障がい病棟での勤務ははじめてでとても緊張しています。新しい病棟ではうまく言葉で表現することが難しい方もいると思います。小さな変化に気づき、その想いに寄り添っていきたいです。

看護部A6病棟 看護師 廣田 美優

4月より新しく配属となりました。不慣れなため、ご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、いち早く先輩方のような立派な看護師になれるように日々業務に励みたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務部 企画課長 川村 義男

初めての静岡県での勤務となります。仕事は楽しく！をモットーに皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

事務部 経営企画室長 今井 由和

名古屋医療センターから赴任しました。静岡県勤務は、2回目となりますが、どうぞ皆様よろしくお願いいたします。

事務部 庶務班長 田島 伊一

鈴鹿病院より異動してまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

事務部 専門職 小瀧 真

国立長寿医療研究センターより着任しました。医事課配属ははじめてとなりますが、スタッフの皆様と協力しつつ、一つ一つ業務に取り組み、当センターがより良い病院になるよう努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務部 庶務係長 加治 豪廣

庶務係長として着任しました。職員の皆様、患者様の助けになれるよう頑張ります。

診 療 体 制

てんかん科		午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30									
診察室	曜日	初 診					再 診				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室								山 崎	川 口	山 崎	白 井
第2診察室							徳 本		荒 木		
第3診察室			今井 克美		白井 直敬	今井 克美	今 井				
第4診察室									日 吉	美 根	川 口
第5診察室								福 岡		寺田清 <small>※第4週はなし</small>	
第6診察室							芳 村			芳 村	松 平
第7診察室				山口 解冬	荒木 保清			荒 木			山 口
第8診察室	高橋 幸利				高橋 幸利			西 田	高 橋		近 藤
第9診察室			川口 典彦	芳村 勝城			重 松			大 谷	大 谷
第12診察室	西田 拓司			松平 敬史		山崎 悦子					

脳神経内科		■ 初診				
診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前	杉浦	杉浦	寺田		
	午後	寺田 達弘		寺田 達弘		尾内 康臣 <small>第4週</small>
第13診察室	午前			高嶋		

特殊外来		
認知症疾患医療センター	月・水	小尾 智一
遺伝カウンセリング外来	適宜	高橋 幸利 小尾 智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しく下さい。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054 - 246 - 4580

F A X ■ 054 - 246 - 4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司 青木 裕子 石橋 綾子
矢嶋 隆宏 佐藤 恩 葛城 裕幸
田中佐代子 高橋 輝 井上 和哉
加治 豪廣

発行 ■ 令和4年7月11日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054 - 245 - 5446

F A X ■ 054 - 247 - 9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

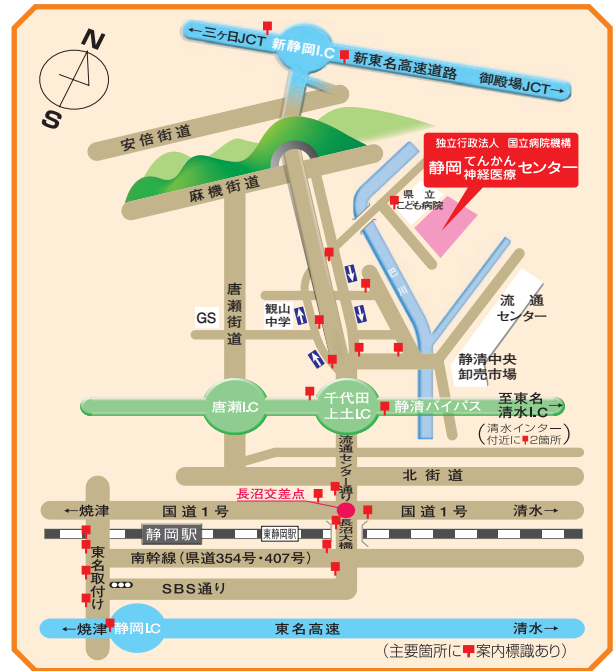
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	東京方面から
	名古屋方面から
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



本

● 抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

● てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～
【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

● 新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

● プライマリ・ケアのための

新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)